

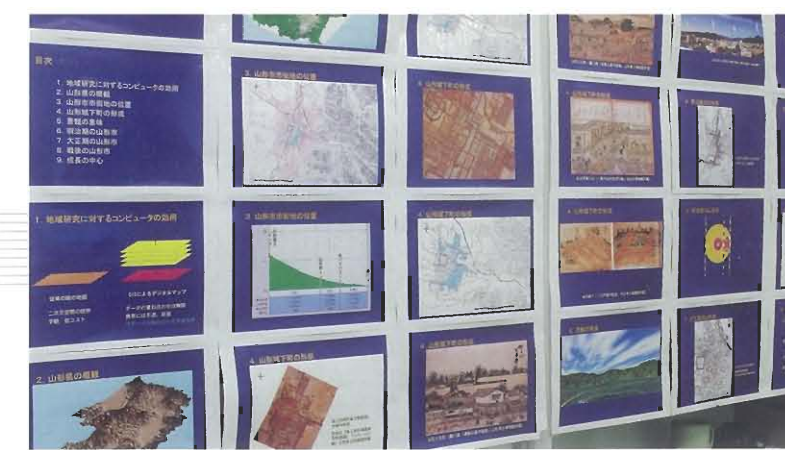
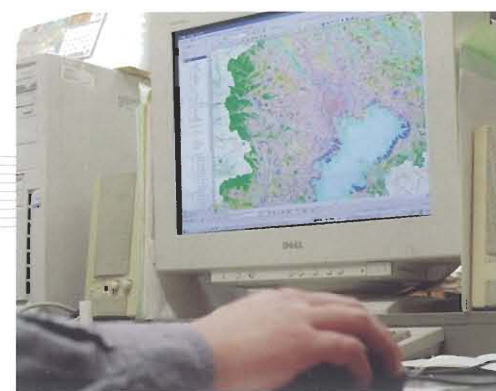
## 地理情報システムGISの可能性を広げる

山田 浩久 人文学部助教授

研究室  
訪問

昔の地図から今を検証したり、  
今のデータから未来を予測したり。  
地図を媒介として深まる地域との連携。

一般的に地図というと目的地にたどり着くために必要な町や建物の位置関係を示す情報と考えがちだが、実は地図の本質はもっともつと奥が深い。地図と一口に言っても道路地図やハザードマップ、環境マップなど、その視点や目的によってさまざまに描き出される。そんな地図を多角的に描き出すことによって社会貢献や地域研究に取り組んでいるのが人文学部人間文化学科の山田浩久先生。各方面からのニーズに応えるカタチで地理情報システムGISの開発にも深く関わっている。



近世以降の山形市市街地の形成過程をGISを用いて紹介した事例。

都市地理学を専門とする山田先生は兵庫県生まれ。山形大学に赴任してきて9年目、その前には女子大で研究と教育にあっていた。ずっと大都市圏を題材とした経済地理学や地価の変動予測などを専門としてきたが、山形に来てからはちょっと勝手が違った。それまで当然と考えられていた理論が地方都市にはあてはまらないという現実。そのため研究の手法に大きな変化が生まれた。対象となるエリアの情報がデジタルデータ化されていないため現場主義にならざるを得なくなったのだ。大都市圏ではパソコンに向かえば出来た仕事だが、ここでは現地に向かい対話の中からさまざまなことを見出し、いかなければならない。でも、それが山田先生にとってはとても新鮮で、とてもいい経験になったという。もし、あのまま大都市圏だけを視野に研究をしていたらコンピュータの世界だけで終わっていたかもしれないと。外に出る機会がグンと増えたという山田先生が、現地調査に学生たちを同行させて感じるの、学生たちの真面目さと口数の少なさだという。現地に行っても地元の人と馴染むまでに時間がかかり、帰る間ぎわになってようやく理解してくるのだという。ちょっともったいない。せっかくの真面目さを生かすためにもあと一歩踏み込んで…と根っからの関西人である山田先生は少し歯がゆさを覚えながらもメールを送っている。

現地調査や学生たちとの交流を通して地域との密着度が高まる中で、山田先生が新たな興味の対象として注目したのが、城下町時代の山形の地図。そこから当時の人々のさまざまな考え方が見てとれるからだ。山形城が扇状地扇端部に築かれた理由は、馬見ヶ崎川を自然の要害として利用し、その水を内堀や外堀に引き込むことを想定していたためであり、扇端部であれば湧水の利用や井戸の掘削も容易だったからだろうと推測される。さらに、千歳山や盃山といった自然の

地形と城下町を形成する武家地や町人地といった配置にもある種の規則性を見てとれるという。今では高層の建築物に阻まれて望むことが出来ない城下町時代の景観を3Dで再現してみても、当時の人々はこんな景観を眺めていたのかと思いを馳せたりもする。これこそまさに、「人や物がその場所に存在している、または、存在していた理由を考え、その理由から地域の特徴を説明する科学」という地理学そのもの、つまり原点回帰である。

### 地図も紙からデジタルへ。期待と注目を集めるGIS、各方面のニーズに対応。

今、山田先生がもっとも力を注いでいるのがGISを普及させるためのさまざまな活動である。各種セミナーなどでその必要性や有効性について講演したり、GIS構築のテーマに沿ったベースマップのデジタル化などに精力的に取り組んでいる。GISをより理解しやすいようにと、山田先生はこんな例え話を用意してくれた。県内に多数の店舗展開をしているスーパーが、それぞれの店舗の場所を示す地図上にその日のお買い得情報を合わせて表示するなどのサービスを可能にするのがGISだと。もちろん、環境マップやハザードマップ、防犯マップなど公共性の高い分野での期待も大きい。このように市民生活にさまざまなカタチで活用できるということで、行政やビジネス、各方面で着々と実用化が進んでいる。それに伴って山田先生のもとに寄せられる相談や要請も多種多方面にわたり、多忙な日々を送っておられるようだ。

地図という平面を飛び出して人々の暮らしの中で立体的に活躍し始めているGISを通して、地理学という私たちのあずかり知らなかった学問が、少し身近に感じられるようになった気がする。現在、過去、そして未来



予測まで、地図は私たちに実にさまざまなことを語りかけている。

※GISとは、地理情報システム (Geographic Information Systems) の略で、コンピュータ上の地図とさまざまな情報をリンクさせることで、位置や場所だけではなく、知りたい情報を瞬時に提供するシステム。

